



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究室報
Citation	独語独文学科研究年報, 26, 101-104
Issue Date	1999-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26121
Type	other
File Information	26_P101-104.pdf



研究室報

講義題目（1999年度）

独語学概論（1）	現代ドイツ語の諸相	植木 迪子
独語学概論（2）	ドイツ語の歴史と方言	清水 誠
独文学史概説（1）	文学史記述の問題とドイツ文学	山田 貞三
独文学史概説（2）	西ヨーロッパ文学の歴史	石原 次郎
独語学Ⅰ	ドイツ語論法（1）	植木 迪子
独語学Ⅰ	ドイツ語論法（2）	植木 迪子
独文学Ⅰ	19世紀から20世紀前半にかけてのドイツ語圏文学の散文（1）	鈴木 純一
独文学Ⅰ	19世紀から20世紀前半にかけてのドイツ語圏文学の散文（2）	鈴木 純一
独文学Ⅰ	Junge Zeitschriften Deutschland（1）	Martin Moser
独文学Ⅰ	Themen Neu 2	Birgit Fuchs
独文学Ⅰ	ドイツ初期ロマン派の諸問題	伊藤 秀一
独語学Ⅱ	Landeskunde－Auf den Spuren Goethes	Christine Kühn
独語学Ⅱ	Landeskunde－Auf den Spuren Goethes	Christine Kühn
独文学Ⅱ	読書行為の歴史（1）	山田 貞三
独文学Ⅱ	読書行為の歴史（2）	山田 貞三
独語学基礎講読	ドイツ語学入門	清水 誠
独文学基礎講読	テキスト読解の基礎	石原 次郎
独語学基礎演習	Grundkurs Deutsch（1）	Christine Kühn
独語学基礎演習	Grundkurs Deutsch（2）	Christine Kühn
独文学基礎演習	「世界文学」を読む（1）	山田 貞三
独文学基礎演習	「世界文学」を読む（2）	山田 貞三
独語学演習	Konversationskurs	Christine Kühn
独語学演習	Konversationskurs	Christine Kühn
独語学演習	古高ドイツ語と古ザクセン語（1）	清水 誠
独語学演習	古高ドイツ語と古ザクセン語（2）	清水 誠
独文学演習	文学研究の理論（1）	石原 次郎
独文学演習	文学研究の理論（2）	石原 次郎
独語学演習	Öklinguistik（1）	植木 迪子
独語学演習	Öklinguistik（2）	植木 迪子
独語学演習	北ゲルマン語演習（1）	清水 誠
独語学演習	北ゲルマン語演習（2）	清水 誠
独文学演習	現代文学の言葉（1）	山田 貞三
独文学演習	現代文学の言葉（2）	山田 貞三
独文学演習	文学理論のテキストを読む（1）	石原 次郎
独文学演習	文学理論のテキストを読む（2）	石原 次郎
独語学演習	Der Birnbaum - Ein Thema und seine Variationen	Christine Kühn
独語学演習	Der Birnbaum - Ein Thema und seine Variationen	Christine Kühn

研究室行事記録

◎ 1999年2月13日に北海道大学文学部202号室において1998年度卒業論文発表会が開かれた。

☆ 1999年6月25日に年報の総会が行なわれ、幹事選出、新会員の紹介等が行われた。

1998年度 論文題目

卒業論文

- 堤 豪 気 : ルドルフ・シュタイナーの人智学
－ 19世紀から20世紀にかけてのオカルト思想及び進化論との関連 －
- 井 上 暁 子 : スタニスワフ・レムの描く地球外生命体は何故正体不明か
- 梅 津 ゆ き : グリム童話とそのパロディをめぐって
- 小 玉 健 也 : 二項対立化の精神性 － トーマス・マン「トニオ・クレーゲル」を中心に －
- 米 田 学 : 印刷広告における情報戦略の分析
- 矢 野 靖 人 : 札幌圏における演劇鑑賞者の実態調査

修士論文

- 瀬 野 晶 子 : 事実の虚構化について － ハーメルンの笛吹き男伝説を中心に －

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
 - 1) 機関紙「独語独文学科研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学部独語・独文学研究室の教官・院生（学生も含む）ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。

本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を払う。

本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。

本会の事務所は北海道大学文学部独語独文学研究室におく。

本会に賛助会員をおく。

☆ 執筆原稿規定

ページ数 : 14ページ程度。

1ページの文字数・行数は任意。ただし35～37行程度が望ましい。

原稿の大きさ : A4

論文題目 : 原稿1ページ目の最上段、中央に、太字・ゴシックで多少大きめに記載する。

二行にわたっても構わない。

また別紙にドイツ語、欧文による題目を記載する。

注釈・文献 : 注釈は奥付けとする。

参考文献については、注釈内に記載することが望ましい。

執筆者氏名 : 原稿1ページ目の3行目（題目との間に1行開けること）、右端に記載する。

身分の明記 : 原稿末に丸括弧つきで、右寄りで身分を明記する。

締め切り : 10月31日

会 員 名 簿

※青 柳 謙 二	○阿 部 和 夫	石 川 克 知	石 橋 道 大
石 原 次 郎	伊 藤 祐紀子	岩 井 洋	岩 田 聡
◎植 木 迪 子	白 渕 幸 子	梅 津 真	江 口 豊
○大 沼 良 江	岡 田 麻 子	小 川 了	荻 原 達 夫
小 澤 幸 夫	加 藤 寛 蔵	※川 島 淳 夫	川 東 雅 樹
岸 川 良 蔵	佐 藤 修 子	佐 藤 俊 一	塩 谷 幸 子
清 水 誠	神 久 聡	鈴 木 将 史	鈴 木 玲 子
○瀬 野 晶 子	高 橋 修	高 橋 吉 文	田 中 智 美
田 中 剛	対 馬 晃	寺 田 龍 男	中 川 勝 昭
中 祢 勝 美	名 執 純 子	名 執 基 樹	西 川 智 之
シャイフェレ馨子	藤 本 純 子	○前 原 真 吾	三 浦 國 泰
最 上 英 明	森 田 一 平	山 田 恵 子	山 田 貞 三
山 田 善 久			

◎は会長

○は幹事

※は名誉賛助会員

独語独文学科研究年報 第26号

(Nenpo. Jahresbericht des Germanistischen Seminars der Hokkaido Universität)

1999年12月発行

発行者	北海道大学ドイツ語学・文学研究会
編集委員	阿部 和夫 大沼 良江 瀬野 晶子 前原 真吾
連絡先	北海道大学文学部独語独文学研究室内
	〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
印刷所	北大印刷